

年男・年女にインタビュー

- ◆今年目標、抱負は？
 - ◆10年後の矢板、どうなっていて欲しい？
 - ◆処分場問題について
 - ◆今、一番力を入れていることは？
- など、聞いてみました。



大澤功弥君（十二歳）

◆小学4年生から剣道を始めて、現在矢板市剣道教室に通う6年生。いろいろな大会に出場、団体戦で上位入賞しています。

◆今年の一番の目標は、まずは3月に小学生最後の全国大会に出場するので、自分の力を充分に出



◆今一番力を入れているのもやはり剣道です。中学生になっても続けて県大会に出場したいです。



中村孝さん（四十八歳）

◆小学校5年生の時、先生に勧められてサッカーを始め、それからずっと今日まで続けている。成人してから団体に行つたことも。

◆自然豊かな矢板が汚染されるのは困る。子供たちの将来が心配。安心して暮らせる経済的なものも含めた住みよい街になってほしい。



◆処分場問題が解決し、企業誘致や工業団地の活性化が進めば思うなと思う。

◆やはりサッカー。それ以外では立ち直りつつある被災地でなにかボランティアができればと思っている。

小川 修市さん（六十歳）

◆来年春には定年を迎える。定年後は、自分の山があるので林業をやろうと思っている。それと、学生時代はバンドを組んでフォークソングやロックをやっていたので、仲間がいればやってみたい、さらにスキーやテニスもできたら、と思っている。



渡辺麻衣さん（二十四歳）

◆昨年四月に卒業し市役所に就職。自分なりに一生懸命自分の仕事をしてきましたが、周りの多くの人に助けられました。今年度は多分先輩になるので、後輩を手助けできるよ



◆大学が埼玉で、矢板に帰ってきて就職します。

◆十年後は、順調に行けば、結婚して子どもを育てられたいです。

岡友美さん（三十六歳）

◆国際医療福祉大学卒業後、同大病院に十三年勤務し現在は育児休暇中。四人の子どもがいます。（上から九歳、七歳、五歳、十ヶ月）

◆子どもを育てやすい環境、例えば、予防接種や保育料等の助成がもっともっと充実することを願っています。



◆現在、任意団体「たんぽぽママのおしゃべり会」の代表をしています。最初の子を出産したあと、この会の創設者三浦孝子さんと知り合いになり手伝った事がきっかけです。

◆処分場問題については、白紙撤回を求める市民同盟会が結成され、行動している。これこそ市民力だと思ふ。こんなことはほとんどの人が初めてのことなので不手際なこともあったが、万人集会には約八千人も集まった。矢板には、これだけの力があるので、皆が一つのことに向えば必ず白紙撤回できると思ふ。

産後の悩みを話し合ったり、誰にでもできる母乳育児について情報提供しています。母子あるいは妊娠中の女性を作りた方、悩み事のある方など、どなたでも相談に来て欲しいです。

◆子どもを育てやすい環境、例えば、予防接種や保育料等の助成がもっともっと充実することを願っています。

◆今、仕事とおしゃべり会の他に力を入れているのは、趣味のタイダイ染め。

◆シャツや靴下などに染めて、自分の家族にオリジナルの、世界でひとつしかない洋服を作っている事が楽しみです。

性の参加は平均二十人くらいですが、おしゃべりしたい方、お友達です。